

日本キャタピラー

油圧ショベルで新元号「令和」書道パフォーマンス

担い手不足解消を目指し、こども達に建機をもっと身近な存在へ

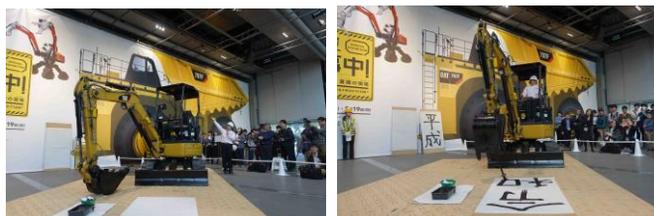
Catブランドの建設機械・ディーゼルエンジン等の販売・サービスを手掛ける日本キャタピラー合同会社（本社：東京都中野区、代表職務執行者 社長・CEO：本田博人）は2019年4月5日（金）、日本科学未来館で油圧ショベルによる書道パフォーマンスを行い、バケットの先につけた筆で新元号「令和」と「平成」の文字を約300名のお客様の前で披露しました。



今回のパフォーマンスを行ったのは、日本キャタピラーの総合研修施設「D-Tech Center」でデモンストレータとして働く 中 理絵（なか りえ）氏。中氏は2004年から同センターに所属し、建設機械のデモンストレーションやICTセミナー等の講師を務めています。建設機械の操作は熟練の技術が必要とするため、経験を積んだオペレータであれば、油圧ショベルを操作して文字を書くことは難しいことはありませんが、現在の建設業界では、建設業従事者や熟練オペレータ減少による人手不足が深刻化しており、経験の浅いオペレータの技術力をサポートしてくれるICT機能の活用とともに、人材の育成や確保が必要となっています。本イベントを通じて、「令和」の時代を担う子どもたちに建機をもっと身近に感じてもらい、担い手不足解消の一助になればという思いで、パフォーマンスを実施しました。



油圧ショベルのバケットの先につけた筆で「平成」の文字を書きあげたあと、いよいよ「令和」へ。力強くパワフルなイメージの建設機械が、しなやかで繊細に動く様子を多くのお客様に見ていただき、文字を書き終えると会場から大きな拍手が沸き起こりました。



パフォーマンスに使用したのは、管工事や身近な工事現場でも見かけるミニ油圧ショベル（Cat 303E CR）。今回使った機械はICTに対応したマシンガイダンス仕様機でしたが、当日はもちろん、中デモンストレータの技術のみで完成させました。

日本科学未来館では、2019年2月8日から5月19日の会期で企画展「『工事中！』～立ち入り禁止！？重機の現場～」を開催しており、キャタピラーグループは企画展への機械の出展等でも協力しています。

日本キャタピラー合同会社概要

本社 : 〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー
設立 : 1966年3月 (2017年4月 日本キャタピラー合同会社発足)
代表者 : 代表職務執行者 社長・CEO 本田博人
従業員数 : 2,407名 (2018年5月1日現在)
英文社名 : Nippon Caterpillar LLC
事業内容 : 建設機械及びディーゼルエンジン等の販売、サービス、レンタル
URL : <https://www.nipponcat.co.jp/>